

# さくら市の生涯学習に関する市民意識調査 (市民アンケートの結果から)

さくら市では、市民の学習活動を支援しながら、社会全体で生涯学習の振興を図ることを目的に、「第二次さくら市生涯学習推進計画」を策定しています。計画の期間は、平成29年4月から令和9年3月までの10年間であり、前期計画(平成29年4月～令和4年3月)と後期計画(令和4年4月～令和9年3月)に分けています。

この度、後期計画の策定に向けて、生涯学習に関する市民意識調査を行いましたので、その結果の概要を以下に示します。

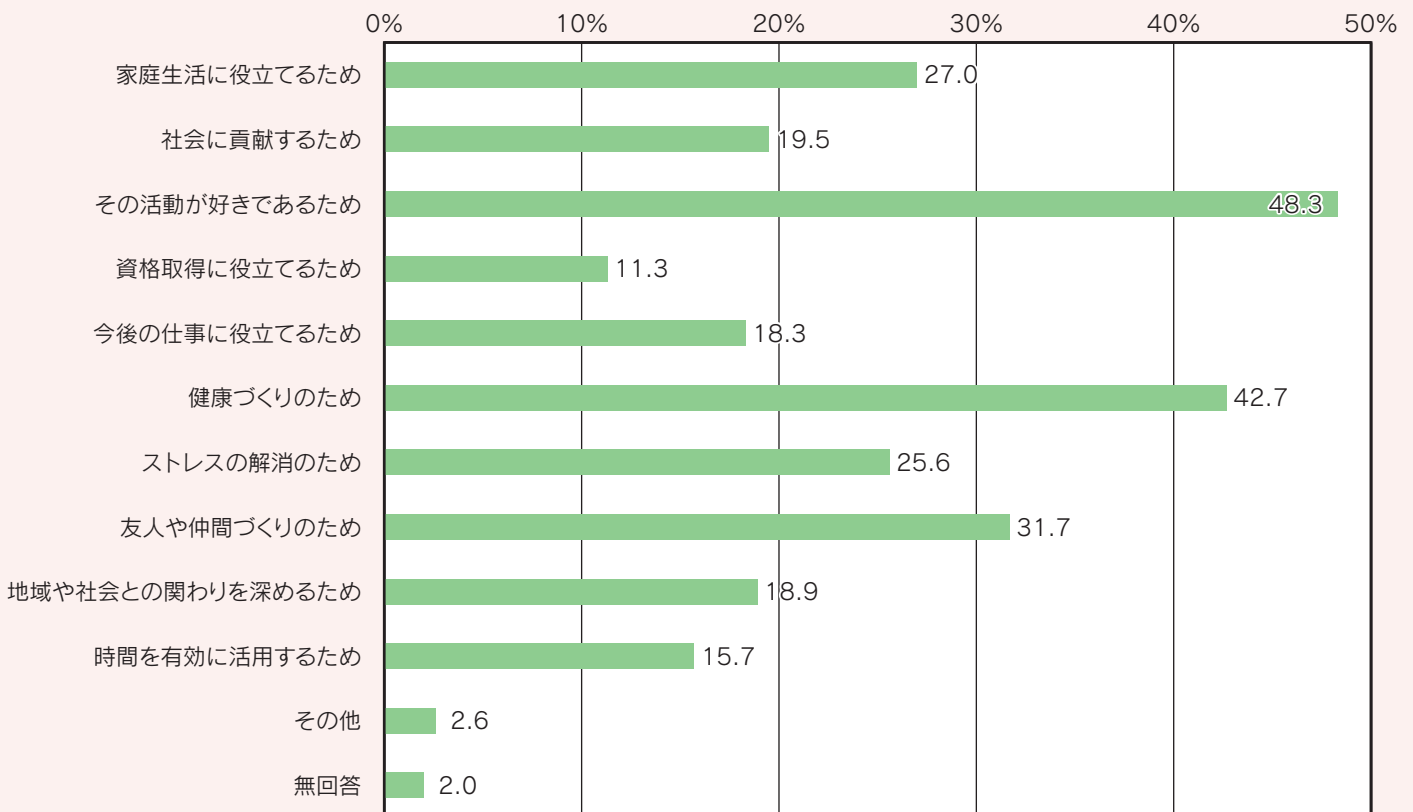
## 調査の概要

- (1) 調査対象者：さくら市内在住の成人2,000人(20歳以上)
- (2) 調査方法：郵送配付及び郵送回収
- (3) 回答者数：792人
- (4) 調査項目：①さくら市に対する印象  
②学習活動の取り組みについて  
③ボランティア活動について  
④まちづくりに関する活動について  
⑤文化振興について  
⑥行政支援のあり方について
- (5) 調査結果の概要

## ①学習活動を行う目的

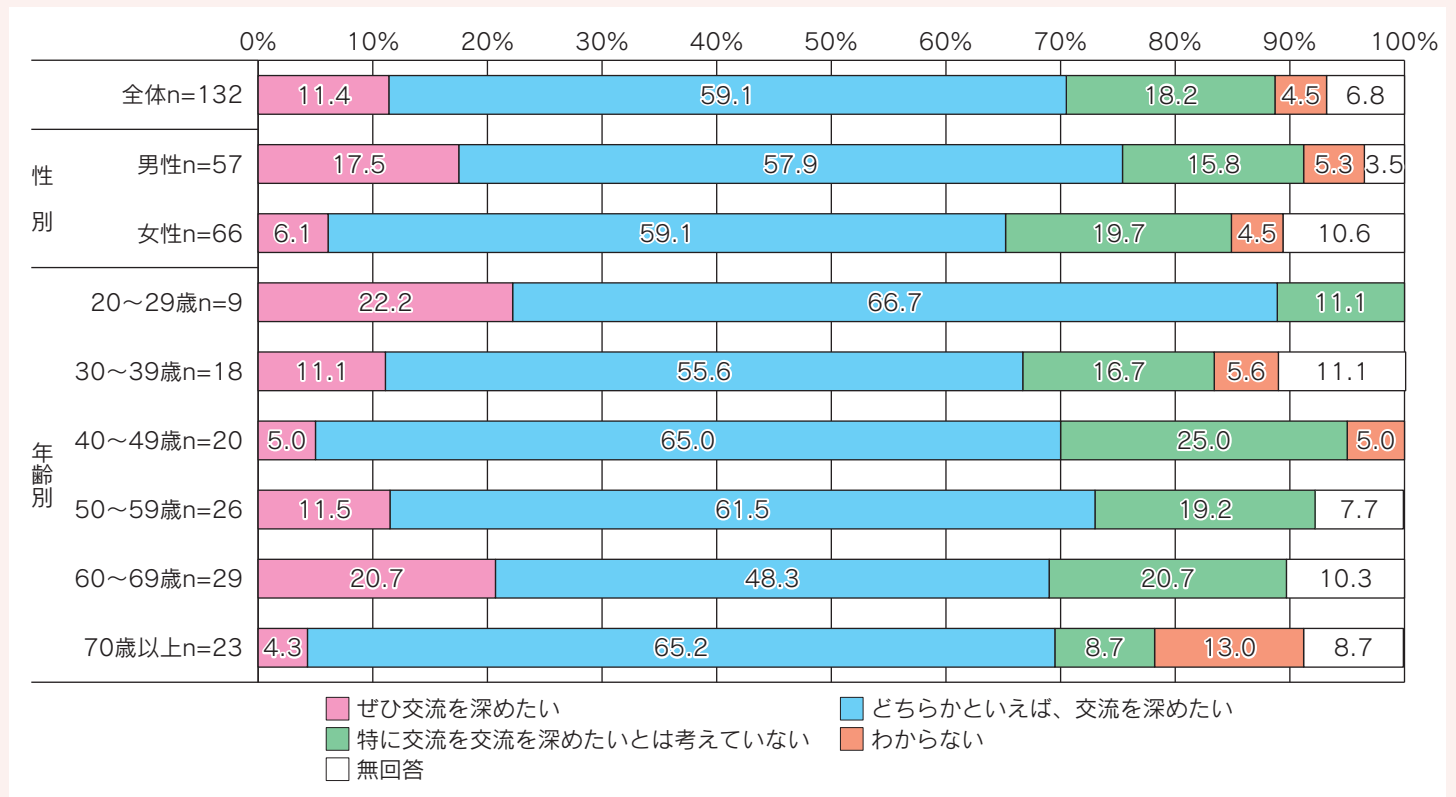
生涯学習に関する学習を行う目的については、「その活動が好きであるため」が全体で48.3%と最も高く、次いで「健康づくりのため」が42.7%、「友人や仲間づくりのため」が31.7%となっています。年代別で特徴的な傾向としては、70歳以上で「友人や仲間づくりのため」、「地域や社会との関わりを深めるため」と回答した人の割合が、他の年代と比較して高くなっています。

生涯学習に関する学習を行う目的



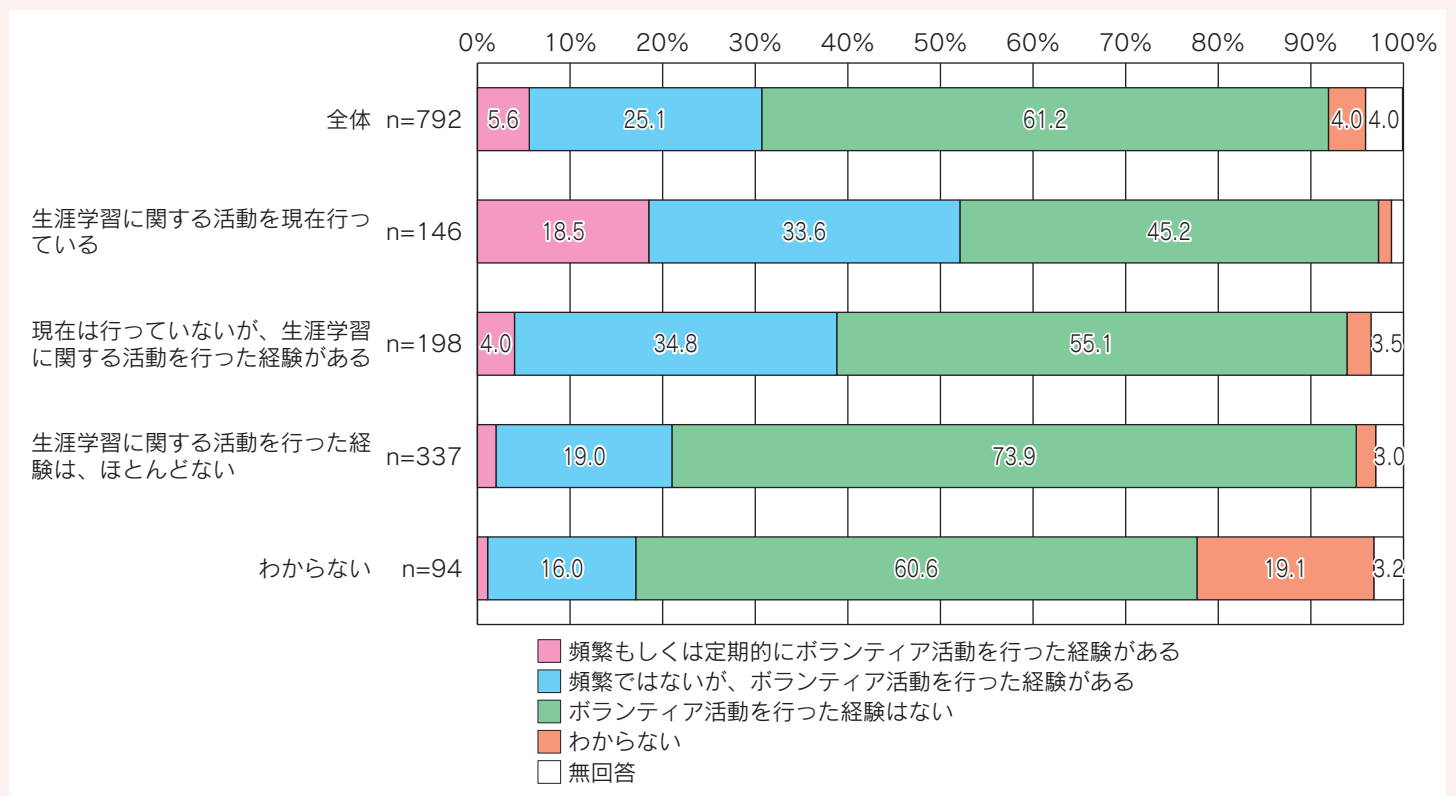
## ②学習活動を通じた市民の交流

今後生涯学習に関する活動を「ぜひ行いたい」または「どちらかといえば行いたい」と回答した人のうち、活動を通して他の市民との交流を「ぜひ深めたい」「どちらかといえば深めたい」と回答した人は70.5%になっています。この割合は、20代で一番高く、88%以上の人交流を深めたいと回答しています。



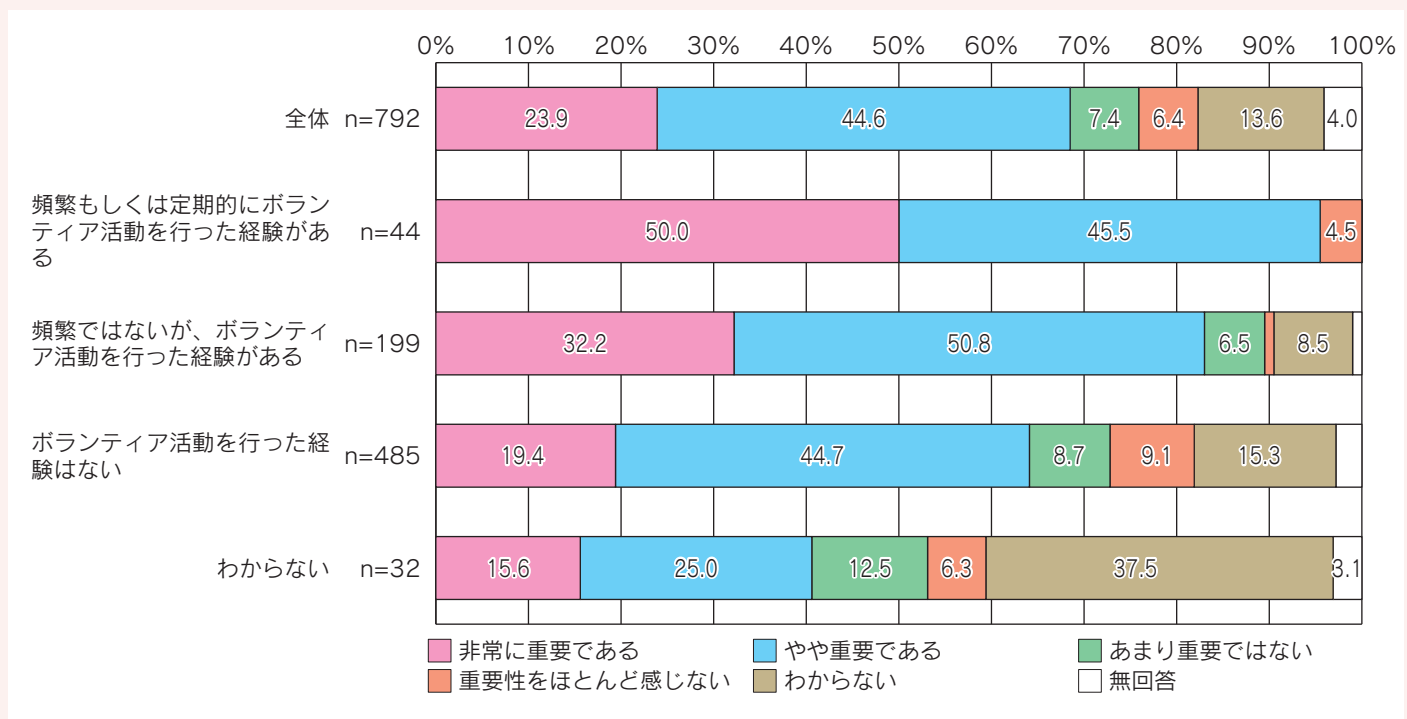
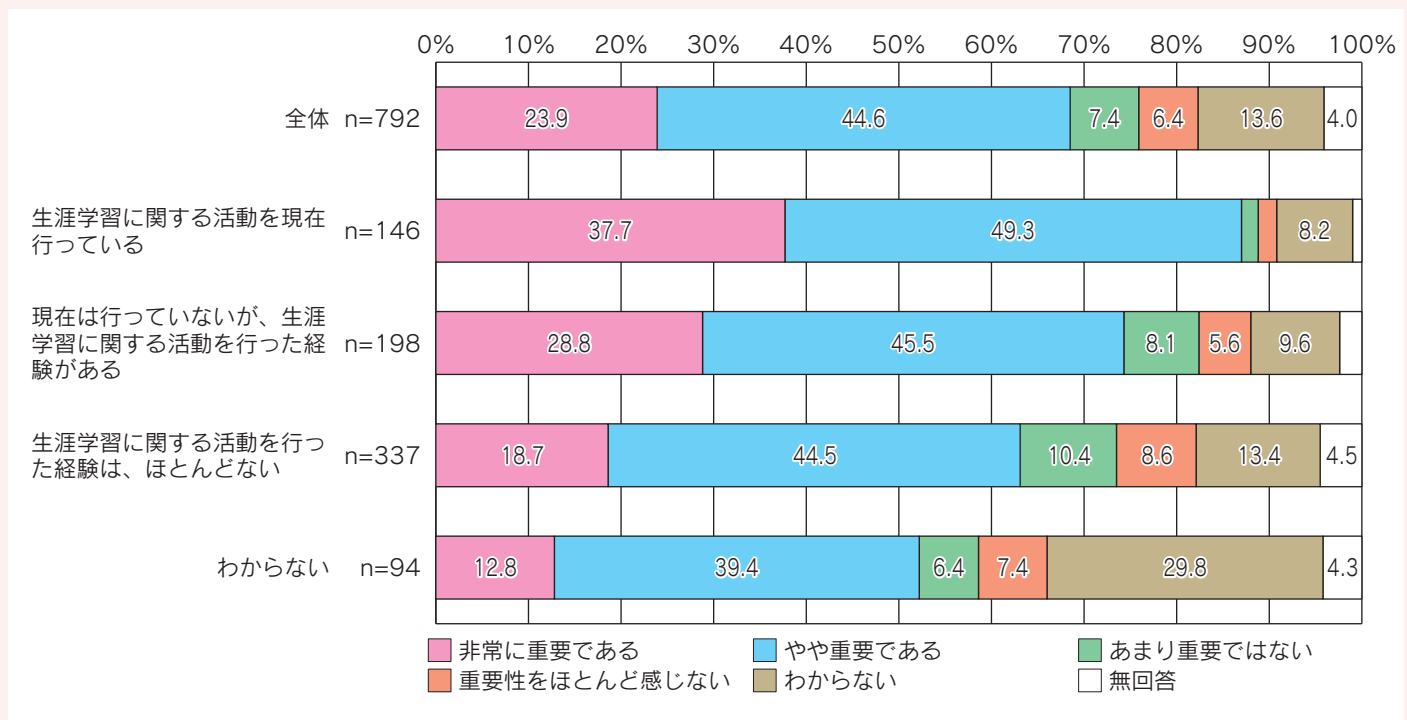
## ③ボランティア活動

下のグラフは、学習経験の有無とボランティア活動の経験の相関を示したものです。これによると、何らかの生涯学習に関する活動を行っている人ほどボランティア活動に取り組んだ経験があることが分かります。学んだ成果を活動に活かしていることが伺えます。



## ④行政の支援

この2つのグラフは、学習経験の有無及びボランティア活動の経験と行政支援の重要性についての相関を示したものです。学習活動やボランティア活動に取り組んでいる人ほど、行政支援が重要であると回答しています。



第二次生涯学習推進計画〔後期計画〕では、前期計画において推進してきました「人育て」「まち育み」「未来づくり」の3つの柱を中心とした『生涯学習によるまちづくり』を、現在の課題を踏まえながら、さらに推進してまいります。

